

ゆうりん



公式SNSも、ぜひチェックしてみてください♪



@AMASYAKYO.9043

裏面に掲載している「赤い羽根共同募金」の手作り募金箱、見に行かれましたか？

「じぶんの町を良くするしくみ」、年齢や立場をとわず、たくさんの方に参加いただく機会になれば、うれしいです！

“ボランティア”の現場から。⑦

今回は、ボラセンコーディネーターが訪問した、ボランティアグループの活動の様子をお届け！157の登録グループがある中で、このような交流、コラボレーションが生まれるといいですね！



ボラセン登録グループ「武庫之荘カフェ」さんの活動日に参加してきました。月に1度、コープ武庫之荘店の集会所を使い、地域のご年配の方々の集いの場として、お茶の提供や様々な催しを企画運営されています。

今回は、ボラセン登録グループ「大正琴バンド万華鏡」さんをゲストに招かれ、演奏に合わせて、みなさんで懐かしの曲を歌いました。

大正琴バンド万華鏡の代表・橋本さんの、気品ある元気ハツラツな語り口、歌声、演奏で、会場がパ〜ッと華やかに！橋本さん作詞の啓発替え歌「下を向いて歩こう」「月がとっても青いから」では、転ばないように・膝が痛いといった身近な“あるある体験”が盛り込まれた歌詞に、会場からも笑みがこぼれていました。

ボランティア活動をしているグループ同士のコラボ、とっても素敵ですね！相乗効果により、1+1=2以上のパワーでした！素敵な時間をありがとうございました♪

ぼちボラの会

今月は

11月14日(木)10時から11時30分

尼社協ほつと館1階ロビー

- 当日参加できます(申込みなし)
 - いつ来ても、いつ帰っても大丈夫です
 - 持ちものは、ありません
 - エコ封筒づくりや切手整理などをします
 - ボランティアのご相談も、お気軽に^o^
- *12月は、13日(金)の予定です！



9月のぼちボラの会で、実習中の大学生と一っしょに作っていただいた工作キットは、オレンジリボンフェスタで使います！ご協力ありがとうございました！フェスタ、ぜひ遊びにきてくださいねー！



子ども虐待防止オレンジリボン運動

オレンジリボンフェスタ

2024 in あまがさき

出会って、笑って、つながって！

2024.11.16(土) 10:00~15:00
雨天決行

会場:立花南生涯学習プラザ
(尼崎市栗山町2丁目25-28)

かんわりできる会場もあるよ!
ちょっと一息つき、おしゃべりに、来てね!

入場無料!
到着でプレゼントもあるよ!

主催:オレンジリボンフェスタinあまがさき実行委員会
NPO法人やまぐさこ(財)尼崎子ども未来の未来(一社)ボラセン/ボラレス/NPO法人つなびる
(一社)ボランティアコミュニケーション協会/尼崎子ども養育ネットワーク/尼崎ユースセンター
共催:尼崎の法人児童虐待防止協議会ネットワーク、尼崎市社会福祉協議会
協賛:子どもの未来を守るネットワーク、いっしょに、尼崎市議会事務局、児童相談所
後援:兵庫県、尼崎市、尼崎市教育委員会、尼崎市公共児童養育施設協議会

オレンジリボンフェスタ
2024 in あまがさき

★がちボラクイズ★「兵庫県共同募金会のマスコットは？」

① あかひょうちゃん ② あかはねちゃん ③ あかはねひょうごん *答えは来月号で！

【10月号の答え】「災害時、被災地の社会福祉協議会に設置される“災害ボランティアセンター”、尼崎では一度も設置されたことがありません！」「災害ボランティアセンター」には、阪神淡路大震災以降、尼社協の職員が何人も応援業務で参加してきましたが、市内では立ち上げたことがないこともあり、ここ数年は毎年、立ち上げ訓練を行っています。地震、水害、台風等、毎年どこかで災害が発生し、個人でのボランティアへ行かれる方も多いかと思います。ボランティア保険の加入はお忘れなく！



防災月間・特集③

コーディネーター
ひとりごと。



阪神淡路大震災から来年で30年。30年という月日の経過は世代交代ともいわれ、震災を経験していない世代が社会の中心となり、記憶が薄れ風化が進むと言われています。

私は当時小学生で、神戸で被災しました。一時、明石の親戚宅へ身を寄せ、地元の小学校に通っていましたが、先生の発案で、クラス全員の前で震災の状況について話をすることになり、緊張しながらどんな揺れで、どうだったかなど話をしていたのですが、途中から泣いて話せなくなってしまったことを覚えています。その時はなぜ涙が出たのかわかりませんでしたが、今思えば、自分でも気がつかない間に心に不安を抱えていて、「体験を話す」には、まだまだ心の準備が整っていなかったのでしょうか。

語り継ぐことはとても大切です。当時のことを冷静に振り返ることができるまで、心が強くなった…のかな？私も伝える側としての役割を、少しでも果たせたらと思います。



防災月間・特集④

あれから30年。

9月号に続き、阪神淡路大震災が起きたときに、すでに尼社協で働いていた職員へのインタビューシリーズ。今回は、在職30年の上杉さん(現在:事務局長)に話を聞きました。

今の尼社協とは違い、職員数が全体で30人もいない、1994年4月に入職、本庁支部(現在の中央むすぶグループ)で働き始めたときに、大震災が発生。当時は市役所の中に机があり、市役所職員といっしょに業務をされていたようで、支部の役員の安否確認等のあとは、罹災証明の発行を担当していたとのこと。

市役所南館2階、今の税の部署のフロアで、机を置き、朝から夕方まで、1か月以上、証明の発行に追われていたことは、今でも忘れないそうです。

その後、ボラセンへ異動後、2000年の鳥取地震の際に、社協職員の応援派遣があり、現地で活動。期間ごとに入れ替わる応援職員の引継ぎ等、今の災害ボランティアセンターの形をつくっていく時代だったそうです。東日本大震災、福知山の豪雨災害等、被災地域での活動を通じて、一度も災害ボランティアセンターを立ち上げたことのない尼社協を振り返って感じるのは、「システム化することと、人が対応すること」を整えていく重要性。

「大震災が発生した直後は、ボランティア活動も一気に注目され、声をあげればボランティアに行く人も集まってくることも多いと思います。ただ、若手といわれる年代をはじめ、年配の方でもこれまでより長く働く人も多い時代になり、ボランティアに関わる人が、昔のように集まるかという点、難しい面も感じます」と。

システム化できるところはして、それ以外に、人が直接、対面で対応することが大切なのは、人が関わっていく、災害ボランティアだけでなく、日々のボランティア活動も、社協の業務にも通じる視点だと感じます。

赤い羽根共同募金
手作り募金箱の
設置場所、尼社協
ホームページで掲載中!

小学生が作った手作り募金箱。10月からの「赤い羽根共同募金」の期間にあわせて、尼社協ほっと館周辺のお店等に設置されています!

問合せは、尼崎市共同募金会(ボランティアセンター取次)まで。

お店への問合せは、ご遠慮ください。



お店によって、営業時間や休業日が異なります。最新の情報は、お店のSNSをご確認ください。



【つづける、つながる、“ちから”になる。】 -順不同・敬称略- バルマークの収集もありがとうございます!

お名前を掲載している方以外にも、匿名で、毎月お持ちいただいている方もたくさん、いらっしやいます。

小さなプルタブ、切手ですが、コツコツ集まったみなさんのちからが、

地域での「ふだんのくらしをしあわせに」する活動を、確実に支えています。いつも、ありがとうございます!

【お名前の

掲載について】

□発行月の前月25日までに、ボラセンで受付した分を、翌月に掲載します。

□1か月に2回以上、お持ちいただいた方は、お名前の後ろに「★」をつけています。

*掲載の流れを整理しました。何卒ご了承ください。

【切手(整理含む)】

尼崎マジック愛好会/立花北生涯学習プラザ/コーキマテリアル(株)

【切手&プルタブ】

ひょうごラジオカレッジ尼崎友の会/大堀晴子/いづもや/劉成朝★/川崎和恵/N P O 法人神戸救急グループ

【プルタブ】

福喜園/大西老人クラブ/伊藤紀子/小林玲子/子ども食堂 晴れるや/大源製菓(株)/武庫町1丁目町内会/稲葉荘社会福祉連絡協議会/阪神尼崎ラジオ体操会/中島雄一/井上正勝/智原登志/足立/宮ノ北長生会/沢本仁一郎/武庫民協第3ブロック/森田西子/西長洲第2福祉協会/竹内進岳・侑子/手話サークル指の会/もとまち整骨院/なかよし食堂/塚口第3住宅福祉協会/水堂三和福祉協会/水堂三和長寿会

【発行】 尼崎市社会福祉協議会ボランティアセンター 〒661-0033 尼崎市南武庫之荘3-24-5尼社協ほっと館3階

電話 06-4950-8863(平日9時~17時) / ファクシミリ 06-4950-8913 / メール amavc@dream.ocn.ne.jp

■「ゆうりん」をメール配信で受け取りたい方は、メールにてご連絡ください。